

ユニット名	学生FBI
代表者	法文学部 法経学科 西村 和真
達成に資するSDGs目標	1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 4 質の高い教育をみんなに 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
活動概要	1. フードバンクのボランティア(毎月) ・NPO法人「しまね子ども支援プロジェクト」(以下、SCS)が運営する「コミュニティフリッジ出雲」(以下、コミフリ)にてボランティア活動を毎月行っている。 ・コミフリでは、ひとり親家庭を対象にフードバンクに寄付していただいた食品を提供する。 ・お米や食品の仕分け作業やデータの入力作業なども行う。 ・利用者さんが食品を安定して受け取れる環境を保ち続けるために、今後も継続的なボランティア活動続ける予定。 2. こうのとりの稲米プロジェクト ・このプロジェクトは株式会社谷口印刷様の糸川さんとの協働事業。 ・4月に田植え、6月に中干し、8月に稲刈りをする。 ・収穫したお米はコミフリへ寄付する予定。 3. アンケート調査(事後アンケートと利用者生活実態調査) 3-1. 事後アンケート(イベント終了後) ・イベント終了後に学生FBIが事後アンケートを実施する。 3-2. 利用者生活実態調査 ・コミフリ利用者の生活実態を調査するべく、9月にSCSと協力してアンケートを行う。 4. 春イベント(4月4日に実施済み) ・学生FBIが主催するイベント。 ・大学に親しみを持ってもらう目的で開催。 ・コミフリの利用者を対象。(小学生～高校生) ・教授によるちょっとした講義、学生による大学紹介、食堂での昼食。 5. 夏イベント(仮題) ・学生FBIが各年に夏に行っているイベント。前回は『宿題やつつけ会』(2025年8月4日)と『夏祭りイベント』(2025年8月9日) ・今年度の内容は未定ではあるが、前年度アンケート等からニーズやイベント意義を考え、開催する予定である。 ・イベント後にはアンケートを実施し、フィードバックを得る。 6. 冬イベント(仮題) ・学生FBIが各年に冬に行っているイベント。前年度は『冬休みイベント』(2025年12月20日)。 ・今年度の内容は未定ではあるが、前年度アンケート等からニーズやイベント意義を考え、開催する予定である。 ・イベント後にはアンケートを実施し、フィードバックを得る。

ユニット名	学生FBI
主な連携先 (予定を含む)	NPO法人「島根こども支援プロジェクト」、出雲縁結び空港、 糸川和浩氏、島根県立大学
成果物の公表予定、 社会への波及効果	0. 活動の成果物の公表予定 ・学生FBIの Instagramを使って活動を発信する ・年度末にはその年度の活動をまとめた報告書を制作し、公表する 1. フードバンクのボランティア(毎月)(SDGsの目標1. 2. 10) ・仕分け作業は各家庭に同量のコメや食品を提供して不公平にしないために、データ入力作業は利用者さんが持って行った食料を把握するために行っている したがって、この作業はフードバンク事業には必要不可欠な作業である。 2. こうのとりのゆめプロジェクト(4月～8月)(SDGsの目標2. 4. 15. 11) (以下、4点このとりゆめプロジェクト 糸川和浩さんのスライドより引用) ・特定非営利活動法人しまね子ども支援プロジェクトへ生産されたお米を寄付し多くの - 子供たちに提供する(SDGsの目標2「飢餓をゼロに」) ・農業(米生産)に関わったことのない若者(子ども、学生)に農業体験を提供する (SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」) ・雲南市大東町で繁殖をしている「コウノトリ」の餌場環境を維持する (SDGsの目標15「陸の豊かさも守ろう」) ・学生に雲南地域の現状を知ってもらい、過疎地域や木次線について考える場とする (SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」) 3. アンケート調査(事後アンケートと利用者生活実態調査) (目標4「質の高い教育をみんなに」) ・アンケートからひとり親家庭が抱えている問題を明らかにすることができる ・アンケートを通じて彼らのニーズを反映した企画を行うという点では我々の活動の礎になっている。 4. 春イベント(4月4日に実施済み)(SDGsの目標4) ・大学という選択肢を参加者の方と共有することができた ・大学に対する価値観を変化させることができた (例えば、大学食堂が市民の方も使えることができるという事実をこの活動を通じてお伝えできたため、大学が閉じられた場所という固定観念を多少ではあるが改善することができた)この点、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」が資する。 5. 夏イベント(仮題)と6. 冬イベント ・内容が未定であるため、イベント内容自体の波及効果は、その設定次第である。 ・大学生と大学外の交流を促す。 ※学生FBIの全活動に共通するSDGsの関わり 17「パートナーシップで目標を達成しよう」がある。 というのも、我々の活動は島根大学や県立大学の大学生の協力や地域の方々との連携などがあってこそ、成立するものである。よって、学生FBIの活動は17「パートナーシップで目標を達成しよう」に資する。 参考:『令和7年度SDGsユニット活動報告書』、『2025年度 学生FBI活動報告書』